

明日へのアグリロード 2024

思いを形に、あなたのチャレンジ支えます。
応援します。農業普及



『楽しい収量調査』
大河原農業改良普及センター



『やっぱりここで温度下がってるっすね！』
石巻農業改良普及センター

令和7年6月

宮城県農政部農業振興課

■ 表紙・裏表紙 写 真 ■

農業改良普及センターでは、日ごろの現場での普及指導員の活動や農業者の動き等の写真を収集し、関係機関や一般県民の皆様に対する普及活動のPRに活用しています。

【表紙写真上】『楽しい収量調査』

(撮 影 者) 大河原農業改良普及センター 宍戸 嘉克

(作品の説明) 優決の収量調査のひとつコマ。収穫した稲株の重さから秋の実りと生育の確かさを感じた笑顔。

【表紙写真下】『やっぱりここで温度下がってるっすね!』

(撮 影 者) 石巻農業改良普及センター 今野 育子

(作品の説明) おんどりのデータを手早くグラフに見せながら、細霧冷房の効果を説明している玉手普及指導員。

【裏表紙写真左上】『七ヶ宿 農繁期の始まり』

(撮 影 者) 大河原農業改良普及センター 伊藤 修

(作品の説明) 暖冬だったので、代かき作業の始まりに若葉が追いつきました。

【裏表紙写真右上】『つきあかりと棒掛け』

(撮 影 者) 栗原農業改良普及センター 佐藤 颯太

(作品の説明) 「つきあかり」を棒掛けで乾燥させています。満月の夜に動き出すことがあるそうです。

【裏表紙写真下】『「蔵の華」の生育はどうか?』

(撮 影 者) 気仙沼農業改良普及センター 佐藤 淳

(作品の説明) 地元酒蔵が使用する酒米を生産する清流「蔵の華」廿一会の現地検討会の風景が風光明媚だったので撮影しました。



普及活動標語

思いを形に、あなたのチャレンジ支えます。応援します。農業普及

ロゴマーク説明

宮城県の農業改良普及事業が農業発展の架け橋となることを願うとともに、
アグリカルチャーの頭文字『A』をイメージしています。

明日へのアグリロード 2024

令和7年6月発行

編集発行

宮城県農政部農業振興課

電 話 022 (211) 2837

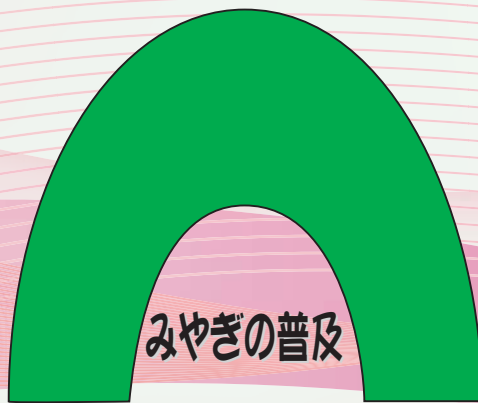
E-mail gbfs@pref.miyagi.lg.jp



『七ヶ宿 農繁期の始まり』
大河原農業改良普及センター



『つきあかりと棒掛け』
栗原農業改良普及センター



思いを形に、あなたのチャレンジ支えます。
応援します。農業普及



『「蔵の華」の生育はどうか？』
気仙沼農業改良普及センター

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。



この印刷物は1,170部作成し、1部当たりの印刷単価は286円です。